

# おうみネット

Ohmi Net

## トピックス

NPOフォーラム'98関西会議  
開催される!

NPOフォーラムに参加して～リポーター座談会

## おうみネット・コラム

「現代社会とNPO」第2回

## スポットライト

滋賀学生ボランティアネットワーク

人形劇サークル「コロボックル」ー八日市市

古式銃研究会「彦根鉄砲隊」ー彦根市

滋賀県余暇生活開発士・相談員会(びわこ会)

## ネットワーク

伝言板 9月・10月情報

リレーエッセイ

Voice



NO. 7  
1998・9

淡海ネットワークセンター

The Ohmi Network Center for Voluntary Organizations



# NPOフォーラム'98 関西会議、開催される!



## NPOフォーラムに参加して～リポーター座談会

2日間の延べ参加人数は1,000人を超える盛況ぶりでした。



大山●私はNPOの全体像をつかみたいと思って参加したので

北島●フォーラムにはNPO、行政、企業といった様々な立場からの参加があり、集まった人々の熱気にあふれ、すごく新鮮な刺激がありました。

谷口●そうですね、とにかくすごい人。いろんな方のお話もお聞きできて、市民活動にかかわる市民、企業、行政の三者が互いの違いを認めあった上で、対等関係を結び合い、動く。そんな「協働する社会」が訪れてきたんだ！ということを感じました。

### NPOフォーラム'98 プログラム

- 7月4日 土曜日**
- 特別公開フォーラム 10:30～12:30  
「新しい市民社会にむけたNPO、行政、企業の役割を考える」
  - 開会式 13:00～13:55
  - 分科会パート1 14:00～17:00  
企業、自治体、大学・シンクタンクとの関係、ネットワーク、ボランティア、経営戦略、事業評価、政策提言(アドボカシー)
  - 特別セッション 14:00～17:00  
「21世紀の新しい社会モデル」
  - 懇親会 17:00～20:00

- 7月5日 日曜日**
- 分科会パート2 9:30～15:00  
教育、文化・芸術、作業所、人権・国際問題、環境、震災、アンパイドワーク、支援センター
  - セミナー 9:30～15:00  
Ⅰ「NPO基礎講座～新しい社会づくりの担い手として」  
Ⅱ「市民活動団体にとっての法人格とは～特定非営利活動促進法のとらえ方と戦略的活用」  
Ⅲ「介護保険とNPO～企業、行政との創造的連携に向けて」
  - 全体会 15:15～16:30

7月4・5日の両日、「NPOフォーラム'98関西会議」が開催されました。3月に特定非営利活動促進法(NPO法)が成立したこともあり、NPOについて関心が高まる中、今後のあり方や意義などについて、様々な分野の中で話し合われました。

当日は「おふみネット」の読者の皆さんの中から3名の方に体験リポーターとして参加いただきました。今回はリポーターの感想を交えてフォーラムの様子をお届けします。

この体験をもとにNPOについてもっと話しあいたい。



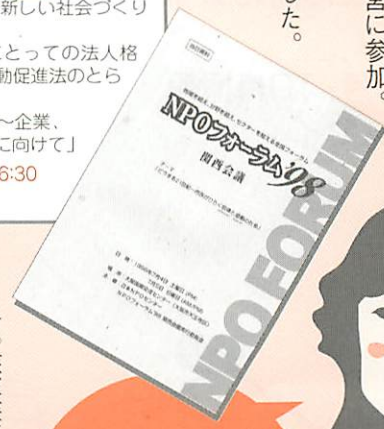
の分野についても活かされると思いま

が、これまで「市民活動」と総称されていたものの個別の顔が、このフォーラムでやっと見えてきたような気がします。何が問題でどうすればよいか、大きな流れの行き着くところはどこなのか、などがおぼろげながら分かってきました。NPOが実に多様であり、またその多様性を認め合い、尊重し合っつて新たな活動領域を創り出すことが今求められているんですね。

谷口久美子 滋賀県おやこ劇場協議会事務局長  
もっとNPOの知識を深められればと参加。

谷口●特別公開フォーラムの中で、パネラーの北川三重県知事の「行政の基本は情報公開。行政は報告型ではなく、パートナーシップを確立することであり、話し合う文化をつくりだす努力をしたい。行政はできるだけ小さく、しかし多面的に供給できるシステムづくりをすすめる」という発言がありました。

大山●それは私たちにあって心強い考え方ですね。最後の全体会の中で「事業は点であり、活動は面である。活動に参加するにはコンセンサスが必要であり、事業をNPOとしてシステム化するには人、場所、お



面白くて、興味深く、時間が早く感じられました。



北島由紀子 主婦(浅井町)  
ボランティア、教育、福祉に関心があつて体験リポーターに参加。

す。核家族が増え、家族団らんが少なくなってきた今の状況でNPOなら、地域の中の小さな子どもからお年寄りまでの橋渡しができるかもしれせんね。

金が必要で、この問題をクリアしないとNPOは社会的に認知されない。今後、情報公開とNPOのメッセージを社会に向けて明確に出していく必要がある」という報告がありました。また行政と市民の関係についても「行政を上手に使う手法を考えて市民の力をつけていくテクニックも必要。税金をお役所から補助金としてもらうという視点ではなく、市民のお金を市民が活用するという視点が大切だ」という意見もありました。

谷口●NPOは行政と企業と対等の立場に位置しているということ。自分は地域の人々と力を合わせ何をつくりだしたいのか。これらの思いが時として薄れ、他者に対する要求に陥ってしまいがちな自分自身に気づくことができな

した。まさに自律の精神を問われたフォーラムだったと思います。

大山●このフォーラムの熱気・活力が21世紀の新しい市民社会づくりのイースト菌になると感じ、私自身、未来も捨てたものじゃないかなと心を励まされました。来年は仙台でフォーラムが開催されますが、滋賀の私たちは滋賀という一つのくくり(地域)の中でNPOの課題を考え、交流していくことも大切だと感じています。

NPOは今やっとな手を  
取りあつて動き  
だそうとしているのだと感じました。

# 「現代社会とNPO」

## —第2回—

### 近江商人と企業フィランソロピー

近江商人として財をなした中井源左右衛門の家訓に、「陰徳善事をなさんより全別儀候はず」という言葉があります。初代中井源左右衛門は、今から200年以上前の18世紀後半に活躍した人ですが、短期的な商売の利益にだけ目を向けるだけでなく、商いで得た利益を地域社会に還元し、長期的視野で商売の環境を整えることが必要であると子孫に説いたのでした。近江商人の家訓を調べると「陰徳善事」に類した言葉が多く表れています。これらをまとめて、近江商人は、「売り手よし、買い手よし、世間よし」という「三方よし」の精神を実践しようとした商人類型であるという評価がなされています。

企業フィランソロピー（企業による社会貢献活動）の我が国における源流をたどると、一つには近江商人の「陰徳善事」や「世間よし」という考え方にさかのぼることができるといえましょう。

さて、フィランソロピーとは、公益の増進をめざした民間の非営利活動を指します。そして今日、個人だけでなく企業も、フィランソロピーの重要な担い手として位置づけられるようになってきました。

確かに企業は、社会的に必要な財やサービスを供給する事によって、利潤を追求することを目的とした組織です。しかし利潤のみを追求する企業像は大きく変更を迫られてきました。すなわち企業の占める社会的な大きさにつれて、企業は株主（シェアホルダー）の利害のみを考慮に入れるのではなく、多くの利害関係者（ステイクホルダー）に対して責任を果たさなければならないと考えられてきたのです。利害関係者とは、消費者や取引先だけでなく、従業員やその家族、地域コミュニティ、地方自治体等です。さらに、利害関係者を超えて、社会全体の健全な発展に貢献する事が、企業の存続にとっても必要だと考えられるようになってきています。環境問題への企業の各種の取り組み等は、その典型的な活動であるといえましょう。今日多くの企業で、財団をつくり、寄付を行い、ボランティア休暇制度を導入する等、様々な形でフィランソロピー活動が行われるようになってきました。

しかし「陰徳善事」だからといって、人知れず行わねばならないという訳ではありません。個人のフィランソロピー活動は、人知れず行うのが望ましいのかもしれませんが、企業の場合は事情が異なります。企業がフィランソロピー活動を行う際には、少なくとも株主と従業員に対して、どのような目的で何を行うのか、情報を公開して十分に説明を行い、アカウンタビリティを果たすことが必要とされるからです。これが今日流の「陰徳善事」なのです。

### 北村 裕明 (きたむら・ひろあき)

滋賀大学経済学部教授  
(財)淡海文化振興財団運営会議 座長

1953年石川県生まれ。1981年京都大学大学院経済学研究科博士課程修了。京都大学博士(経済学)。滋賀大学経済学部教授。財政学、地方財政論担当。著書に「現代イギリス地方自治の展開」(共編著、法律文化社、1993年)、「現代の財政」(共著、有斐閣、1996年)など。



## こんな分科会でした!

### ■教育改革におけるNPOの役割を考える (谷口・北島)

会場に入った時から、ひしひしと感じる緊張感。でも、司会の方のユーモアあふれるお話しぶりです。しばしの笑い少しリラックスして、お話をうかがうことができました。

分科会ではまず4人のゲスト(いずれも教育関係者)から、様々な教育改革の実践例が報告されました。

その中の「学校法人きのくに子どもの村学園」では、「子どもたちが毎日楽しい、生きていることが素晴らしい」と実感できることを理念に、学年の壁、教科の壁、教師と子どもとの壁、学校と地域社会の壁をなくし、「ファーム冒険クラブ」「うまいものづくり」などのクラスをつくっておられます。

また「大阪府立松原高等学校」では主体的な学びを大切に、「学びの質を変える」「コミュニケーションする力を身につけることを目標に総合学科を設置。地域との連携で実150にもおよぶ多彩な選択科目をもっています。

学校、地域、家庭の全般にわたって教育力が落ちてきていると言われている中、起こってくる問題の原因をそれぞれに帰結させるのではなく、子どもが生きることが楽しいと実感をもつことをキーワードに、おのおのがネットワーキング、あるいは発言しあうことで新たな可能性を見いださうという展望のひらけた分科会でした。



### ■NPOにおけるアン・ペイドワークを考える (大山)

アンペイドワークとは無報酬労働のことです。家庭における三大アンペイドワークは家事・育児・介護であり、これらはそのほとんどを女性が担っており、育児・介護については少子化・高齢社会化により社会により、社会による保障が必要だと言われだしました。また経済活動におけるアンペイドワークは農業や食料生産などにおける無償労働であり、またボランティア

活動、コミュニティワークなども含まれます。NPOは今のところ無償労働の延長上に位置づけられていますが、これでは恒常的な活動は望めません。

組織が維持・発展するには人・場所・お金が必要であり、特に「人」に関する専従スタッフとボランティアとの違いについて議論が集中しました(表1)。「お金」については主催者のペイワーク(持ち出し)で維持しているという団体もあり、ボランティアの善意にすがってはいけないという認識はあるが、ではどうすればいいのかという決め手はなく、今後もこういった分科会を続けていく必要があるということでも締めくくられました。

(表1) 専従スタッフとボランティアの違い

	意識	継続性	将来的には	時間的拘束
専従	全体を見渡す	責任がついてくる	リーダーやコーディネーター	ある程度拘束
ボランティア	自分の関わっている部分	嫌なときに辞められる	未知数	自分のできるとき

### 大山純子 フリーライター(彦根市)

わくわく市民活動ゼミナール・COP3の京都会議でNGO、NPOに関心をもち、NPOの全体像をつかみたくて参加。



●ボランティアをやってみただけで、何をどうしてよいか分からない：滋賀学生ボランティアネットワークは、そんな学生たちに活動場所を紹介、相談に乗りながらボランティアの輪を広げていくこと、今年3月に結成されました。

始めたのは立命館大学理工学部4回生の江角憲治さん。高校時代から福祉ボランティアに従事、阪神大震災を契機に若い人たちの「社会でかかわりたい」という欲求が強まっているのに、活動へ踏み出すための情報や水先案内をする人が少ないことに気付いたのがきっかけです。

「最初のボランティアはたれでも不安なものです。アドバイスする人がいるといないとでは大違い。そこで県内のボランティア先をネットワークして、希望に沿った参加先を紹介、アドバイス」



◀代表の江角さん

する組織を考えました」

活動の柱は

(1)福祉

(2)環境

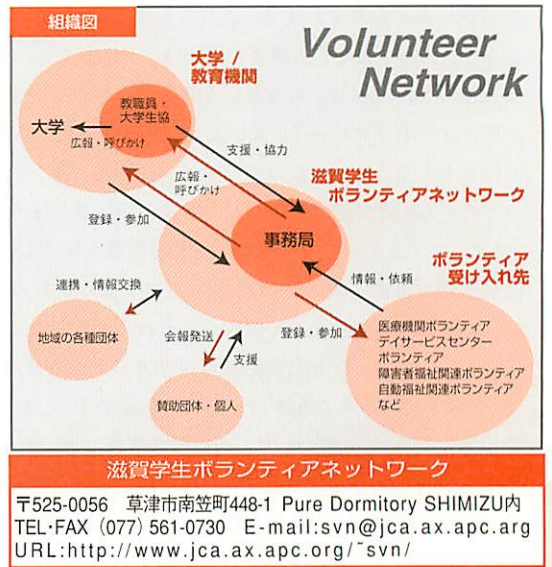
(3)自分が学んでいることや将来就こうとしている職業

に関連した分野（インターンシップ）：の3つ。今年7月には学生たちが実際に住んでいる

「地域」の中に独自の事務所を確保、既に15人の会員に活動先を紹介しました。

この種の組織では活動先を紹介するだけで終わることが多いのですが、実は終わった後の交流が大切で。

「例えば、知的障害の子供たち。遊び相手のいない彼らとは一緒に遊ぶのが活動なのですが、彼らとコミュニケーションをとるのは至難の業。コミュニケーションを求めて参加している若者はそのギャップに悩みがちです。でも交流を重ねていくうちに、言葉だけがコミュニケーションの手段ではなく、一緒に走り回ったりする



滋賀学生ボランティアネットワーク  
〒525-0056 草津市南笠町448-1 Pure Dormitory SHIMIZU内  
TEL・FAX (077) 561-0730 E-mail:svn@jca.ax.apc.arg  
URL:http://www.jca.ax.apc.org/~svn/

# ボランティア希望の若者たちに活動を“水先案内”

滋賀学生ボランティアネットワーク



▲滋賀学生ボランティアネットワークのガイドブック



境・福祉・ちづくり...内外でキラキラ元気に動されている方々にポットライトをあて、の活動を紹介します。

# 手作りの味を生かして、ながく続けていきたい

## 人形劇サークル「コロボックル」(八日市市)



●人形劇サークル「コロボックル」は、雲川弘予さんを中心に子供が大好きなお母さん7人が活動しているグループです。10年前、雲川さんの声掛けて、地域の子供会の指導員をしていたメンバーが集まり、八日市の子供フェスティバルに参加したことがきっかけで人形劇を始めました。プロの人形劇団の指導も受け、今は子供達から大人の方にも楽しんでもらえる人形劇をと頑張っています。

人形はすべて手作り。お裁縫の得意な雲川さんが衣装などを担当、みんなで工夫を重ねながらキャラクター作りをします。昔話や民話をもとにシナリオを書き、オリジナルの作品も公演しました。保育園や幼稚園のほか老人会など、年に10回程度公演しています。この夏、コロボックルは大忙しでした。



人形劇サークル コロボックル  
〒527-0025 八日市市東本町14-7  
代表 雲川弘予 TEL (0748) 22-3564  
FAX (0748) 24-2670

「びわこ人形劇フェスティバル」が天津で開かれプロに混じって13のアマチュアグループの1つとして参加しました。また、海外の人形劇団も集まる長野県飯田市での「世界人形劇フェスティバル」にも、去年に続いて参加、多くの刺激を受けました。練習は月2回。それぞれ仕事をもち、忙しい合間を縫いながらも「子供が好き、楽しいことが好き」だから集まって来るとか。メンバー各自がそれぞれの個性を生かして役割分担し、チームワークはバツグン。メンバーの今の望みは「人材」。アマチュアらしく手作りの活動を続けて行くために、同じ思いの方、子供大好き、人形劇大好きの方大募集!! 「終わった後で、子供たちがお礼として歌を歌ってくれたとき、感動しました。だからやめられないんです」

(聞き手:編集ボランティア 松井由美子)



◀愛嬌のあるメンバーの手作りの人形

# 市民全体が参加できる祭りを目指して いざ「稲富流砲術」でまちおこし



▲会長の松本さん

昭和59年、彦根の観光による地域おこしを考へていた商工会議所青年部がこの砲術に着目、これを研究・再現、次代に伝えるため古式銃研究会を結成しました。観

●彦根の伝統文化「稲富流砲術」の復活・伝承を通じて、彦根市の活性化を図ろうというユニークな活動を続けているのが、彦根商工会議所青年部の古式銃研究会(会員約30名)です。「稲富流砲術」とは、細川家の家老で日本の鉄砲第一人者の稲富夢が彦根で確立した古式銃(種子島以来の古い形式の銃)の砲術。関ヶ原の戦いのころ、砲術は邪道といふことで主君から命を狙われた稲富一夢を、彦根藩初代藩主の井伊直政公が救い出した縁によるものです。

昭和59年、彦根の観光による地域おこしを考へていた商工会議所青年部がこの砲術に着目、これを研究・再現、次代に伝えるため古式銃研究会を結成しました。観



以来15年。彦根市の春のさくらまつり(4月)や秋の城まつり(11月)のほか、県外のイベントにも出向いて古式銃の演武を披露、観光彦根を全面にアピールしています。「昨年は大晦日から元旦にかけて、古式銃演武を中心にした、まちおこしイベントを彦根城で実施しました。滋賀では祭りが多い割に、市民全体が参加する祭りが少ないからです。町の人たちに年一回は彦根城に上がってもらうのも目的でした。赤い鎧をまとった彦根鉄砲隊による演武のほか、鎧を着た女性ロックバンド「カブキ」によるロックコンサート、餅つき大会、抽選会など盛りだくさんのイベントを実施したところ、夜だけで四五〇〇人、全日で九〇〇〇人と予想を上まわる参加者がありました。これも地元関係機関のご支援があります。」古式銃研究会会長 松本隆也(ん)



▲「彦根鉄砲隊」のメンバー

光イベントに生かすため「彦根鉄砲隊」を再現、鎧も旗差し物も赤一色に統一

「井伊の赤備え」「赤おとし」と恐れられた当時のいのでたちで古式砲術の演武を披露するにしました。



環ま県活スそ

## 彦根商工会議所青年部古式銃研究会「彦根鉄砲隊」

〒522-0063 彦根市中央町3-8 会長 松本 隆  
TEL (0749) 22-4551・FAX (0749) 26-2730

●学校から帰ったあと、仕事を終えたあと、あるいは家事が終わりほっとしたあと、そして休日など...そんな自由時間の過ごし方に対して、余暇活動の相談に乗ったり、楽しい遊びを提案したり、自由時間をコーディネートしたりしているのが滋賀県余暇生活開発士・相談員会(通称:びわこ会)の皆さんです。あまり耳慣れない言葉ですが、余暇生活開発士・相談員は今、全国で千人以上の資格者がおられ、滋賀県では十数人が活躍しています。

最近、淡海ネットワークセンターの紹介で、知的障害者のための余暇活動への協力を始めました。水口健康福祉センターでは、7年前から主に甲賀郡を中心と



「大津っ子祭り」に参加したメンバー



▲ふれあいサロン

した知的障害者を対象とする余暇活動「ふれあいサロン」を開催されており、その伝統あるイベントへの遊びの提案・企画がそれ。「7月はニュースポーツの「インディアカ」に挑戦しました。継続的に練習して、もう少しうまくなったら、ぜひ県大会に参加したいですね」と意気込んでおられる事務局長の楠亀さん。

大津市政100周年第15回大津っ子祭りでは、木工細工、よし笹細工、折り紙遊び...など昔の遊び、自然をいかした水辺の遊び、など「遊びコーナー」を提供しました。「本当に大勢の方々に参加していただき、皆さんすっかり童心に帰りました。皆さんは、県内ならばどこでも「楽しい遊び」「余暇相談」や「余暇に関する講演」などをおこない、これからの余暇時代を楽しいものにしようと張り切っております。

## 滋賀県余暇生活開発士・相談員会(びわこ会)

〒523-0891 近江八幡市鷹飼町1365-1  
TEL (0748) 32-6610 事務局長 楠亀 清司

余暇を元気に楽しく過ごす!!  
— 滋賀県余暇生活開発士・相談員会(びわこ会) —

### 中国関係留学生との意見交換会

日時●10/25(日) PM1:00~5:00  
会費●留学生無料/一般 2,000円  
(留学生は交通費の実費を支給)  
場所●大津市ふれあいプラザ5F  
お問い合わせ先●030-872-0858  
滋賀日中友好会事務局/小栗

### お産と子育てを支える会「マミーハウス」

日時●毎月第4水曜日PM1:00~4:00  
場所●朝日奈宅(八日市市緑町)  
内容●妊婦さんや若い女性を交えての  
情報交換の場  
参加料●500円  
お問い合わせ先●0748-23-6276  
朝日奈

### こんなことしま〜す!

#### 映画会・羽田澄子演出 「住民が選択した町の福祉」

日時●9/5(土) 1回目PM2:00~4:00  
2回目PM6:00~8:00  
場所●守山市民ホール  
入場料●前売1,000円/当日1,200円  
お問い合わせ先●077-583-0008  
2007年の会 代表/久田 君江

#### 第81回低学年例会 「かたっぽかたっぽどこいった?」他 〜くわえ・ぱべつとステージ公演〜

日時●9/5(土) 1回目PM3:00~4:05  
2回目PM6:00~7:05  
場所●長浜市六荘公民館「六角館」  
お問い合わせ先●0749-64-1527  
長浜おやこ劇場

### 音楽の森 イブニングコンサート

日時●9/5(土) 開場19:00 開演19:30  
場所●栗東町立図書館前庭  
お問い合わせ先●077-551-0132  
栗東町音楽振興会/森岡

### かあさん手づくり土曜日

日時●9/5(土)・19(土)  
第1・第3土曜 AM9:00~10:00  
場所●甲南町農村環境改善センター  
内容●無農薬野菜などの販売  
お問い合わせ先●0748-86-5032  
甲南町生活改善グループ/中井

### 第100回例会 「おしゃべりなパントマイム」

日時●9/12(土) PM6:30~8:00  
場所●滋賀会館 大ホール  
参加費●3,000円  
内容●カンジャマ・マイムによる  
パントマイムショー  
お問い合わせ先●077-525-4578  
大津おやこ劇場

### 第40回ライブラリーコンサート 「オペラへの誘い 〜コロラトゥーラ・ソプラノの魅力〜」

日時●9/12(土) PM7:00~8:00  
場所●甲西町立図書館  
お問い合わせ先●0748-72-5550  
甲西町立図書館

### びわこ学生ボランティア ネットワークコンクール

〜集え!ハートフル・スチューデント〜  
日時●9/13(日) PM1:00~5:00  
場所●立命館大学草津キャンパス「Riits」  
お問い合わせ先●0749-22-7522  
(社)日本青年会議所近畿地区  
滋賀ブロック協議会 びわこボラ  
ンティアネットワーク委員会

### '98タタミマス(押花工房) 押花アート展

日時●10/2(金)~4(日) 9:00~16:30  
場所●近江八幡市 白雲館  
お問い合わせ先●0748-22-2940  
タタミマス/徳永 信子

### 長浜芸術版楽市楽座 アートインナガハマ'98

日時●10/3(土) 10:00~17:00  
10/4(日) 10:00~16:00  
場所●長浜市街地商店街  
内容●全国のアーティスト・クラ  
フトマンが展示・実演・販売  
お問い合わせ先●0749-65-0393  
長浜芸術版楽市楽座運営委員会事務局

### 第100回記念特別演奏会 「まちかど」サロンコンサート

日時●10/24(土) PM3:00~5:00  
場所●大津市民会館 小ホール  
参加費●2,500円  
内容●マリンバ演奏  
お問い合わせ先●077-585-3045/村田

### 心と心を結ぶ絵手紙創作展

日時●10/30(金)~11/3(祝) 11/2休  
場所●水口町立碧水ホール  
お問い合わせ先●0748-62-6420  
鹿深水墨画会/村井 実

### 一緒に考えませんか?

#### 波動研究会 滋賀交流会

日・場所●9/6(日)・10/4(日)  
大津市生涯学習センター  
9/13(日)・10/11(日) ウィングバ  
レス草津 ●時間PM1:30~4:00  
内容●家族・友人・知人等の関り  
方に関する勉強  
参加費●500円(初回無料)  
お問い合わせ先●077-567-7950/田中

### 市民・行政・企業の 合同ワークショップ開催

日時●9/12(土) AM9:30~12:00  
場所●ひこね燦ばれす  
内容●パートナーシップについて  
〜ひこねと遊ぼう〜  
'98大人の学校「夜学」  
ちょっと知的な大人のサロン

日時●9/12(土)・18(金)・19(土)・  
10/3(土)・9(金)・16(金)・17(土)  
PM7:00~9:30/全11講座開講  
場所●千代神社・広国寺・三中井  
ギャラリー他  
定員●各講座20名  
参加料●各講座3,000円  
(軽食・ドリンク等含)

お問い合わせ先●0749-22-7522  
E-mail:hikonejc@pop.biwako.or.jp  
(社)彦根青年会議所

### NPOと一緒に勉強しませんか!!

日時●9/18(金) PM7:00~9:00  
場所●大津市ふれあいプラザ  
講演内容●「なぜNPOなのか〜よりよ  
い地域社会を築いていくために」  
講師●早瀬 昇氏  
お問い合わせ先●077-522-8005  
(社)大津青年会議所 事務局

### 八日市郷土文化研究会創立30周年 記念講演会

日時●9/20(日) PM2:00~4:00  
講演内容●「近江を語る一司馬遼太  
郎さんと私の交わりを重ねて」  
講師●上田正昭(京大名誉教授)  
場所●八日市市 アピアホール  
お問い合わせ先●0748-23-2255  
八日市郷土文化研究会 事務局/中島

### カウンセリング勉強会

日時●毎月第4木曜日  
AM10:00~12:00(9月のみ25日(金))  
内容●いじめ・不登校・家庭内暴力等々  
について、一緒に考えてみませんか  
参加費●500円

### カウンセラー養成セミナー (会員対象)

日時●毎月第4木曜日  
PM1:30~4:00(9月のみ25日(金))  
講師●教育カウンセラー 柏原清保氏  
(マザーカウンセリング協会会長)

場所●ひこね燦ばれす  
お問い合わせ先●0749-27-0313  
マザーカウンセリング協会/  
彦根教室 比佐野

### 茜トークサークル(死への準備学習の学び) 第44回例会「名句に学ぶ死生観」

日時●9/26(土) PM1:30~4:00  
場所●大津市生涯学習センター  
参加費●500円  
お問い合わせ先●077-522-6897  
茜トークサークル事務局/木下

### 読書会・講演会

日時●10/17(土) PM1:30~3:30  
場所●県立女性センター(近江八幡市)  
参加費●1,000円  
お問い合わせ先●077-548-9691  
滋賀県読書グループ連絡事務局

### NPO人材養成講座 初級講座

日時●10/17(土) 10:00~18:00  
10/18(日) 9:00~16:00  
場所●京都市生涯学習センター  
京都アスニー  
参加費用●市民活動団体・NPOの  
方・行政 20,000円/シンクタン  
ク・企業の方 30,000円  
お問い合わせ先●0423-59-8605  
NPO研修・情報センター

### 参加してみませんか?

おうちフリーマーケット実行委員会  
O・F・Aフリーマーケット  
あなたもお店を開きませんか?  
日時●9/27(日)・11/3(火・祝)  
10:00~15:00  
場所●栗東町立野洲川運動公園  
出店料●個人1,000円・団体3,000円  
お問い合わせ先●080-386-0503/九里

### 第8回「彦根からのメッセージ」 (VOICE日本語スピーチ大会)

出場者募集  
日時●11/15(日) PM1:00~4:00  
場所●ひこね市文化プラザ  
内容●第1部「日本語発表」スピー  
チ・演劇 第2部「交流タイム」  
申込締切●9/15(火)  
お問い合わせ先●0749-23-5517  
ひこね国際交流会VOICE事務局/丹下

### '98 しゃくなげMTB フェスティバル参加者募集

日時●9/13(日) 7:00~15:30  
場所●蒲生郡日野町熊野周辺  
特設ステージ  
内容●マウンテンバイクレース他  
参加費●チャイルドサーキット  
2,000円/個人サーキット 3,500円/  
4時間耐久レース 14,000円  
お問い合わせ先●0748-52-0515  
日野町商工会内しゃくなげMTB  
実行委員会

### '98 国際交流祭in 彦根ミシガン日本センター フリーマーケット募集 バザール

日時●10/4(日) 9:00~16:30  
場所●ミシガン日本センター前広場  
お問い合わせ先●0749-26-3400  
'98国際交流祭実行委員会事務局

### つくりました!!

#### 「文化ホールとまちづくり」 ハンドブック

内容●公立文化ホールの実態・  
イラストマップ  
価格●一冊 500円(送料込)  
希望者●500円切手同封のうえ  
下記まで  
お問い合わせ先●077-525-4578  
〒520-0047 大津市浜大津1丁  
目4-1 文化の見えるまちづく  
りネットワーク/東野 昌子

### 助成案内

#### 琵琶湖・淀川水系の 水環境改善事業助成

●助成対象事業  
①地域に密着した身近な水質浄化事業  
②水質浄化事業に必要な材料調達  
システム作り及び材料調達  
③水質浄化事業におけるリサイク  
ル推進事業  
④上記に関連する研究

#### 琵琶湖・淀川の水辺を 愛する活動助成

●助成対象活動  
①水質の保全・改善に関する活動  
②自然生態・親水・水源涵養等の  
機能を保全・改善する活動  
③水環境について知り、理解する活動

応募締切●9/18(金)(必着)  
助成内容●1件あたりの助成金額  
は30万円程度  
お問い合わせ先●06-202-1267  
E-mail:biyokiko@byq.or.jp  
URL:http://www.byq.or.jp  
(財)琵琶湖・淀川水質保全機構

手から手へ、バトンを渡し  
ネットワークを  
広げましょう!!  
次はあなたの元へ  
バトンが届くかも  
しれません…



大山純子さん



池田陽子さん

守山市  
松井由美子さん  
お楽しみに!!

私は、40才を過ぎてから北京大学に留学し、中国語を楽しく学ぶようになり、一昨年から中国帰国者等に対する日本語教師をしたり、初級の中国語を少し教えたりしています。

外国語の勉強のコツは…

- ①不要不好意思(恥ずかしがらない)である事。
- ②你好、Morning 外国語を無理に直訳せず、そのまま、你好、Morning と覚える事。外国語を身体で受け止め、ニュアンスを肌で覚える事。

…と生徒さん達に話しています。例えば、Excuse me.とI'm sorry.とSorry.とI beg your pardon.とは、使う場所、状況において適切に使えるよう…身体で覚える事が大切なのです。

海外旅行をしているとき、日本語でコンニチワと話しかけられたり、アリガトウと言われるだけで、何となく嬉しくなり、親しみを感じませんか?…流暢な外国語を話すより、カタコトで身振り手振りを混じえての…時には筆談、絵を描いて伝え合う行動にこそ、心のふれあいがあります。

次は守山市の松井由美子さんを紹介します。



こんな活動をしています。ご協力をお願いします。

96年3月24日に  
は天津市で「オ  
の活動の輪が広  
がっています。  
ました。以来、そ  
6日に結成され  
1クで94年2月  
知人のネットワ  
感を持ち、友人  
出の現状に危機  
器店の有志とオ  
代表団有志とオ  
の環境保全に関  
（主に）第4回  
器店の有志とオ  
の環境保全に関  
（主に）第4回  
器店の有志とオ  
の環境保全に関  
（主に）第4回



第9回モンテリオール会議の各国政府関係者出席の本会場で開催されたストップ・フロン滋賀のメンバー

皆さん、この小さな小さな美化運動に協力して下さい。あなたのまわりの花も木も、虫も小鳥も、水も岩も、川も池も、山も海も、あなたのやさしい心を守っています。何を美しくするのですか?自分の心、そして地球です。どのようにしてするのですか?一人が一

小さな美化運動「心と地球」



「心と地球」の活動の様子

私達はすこやか荘の給食ボランティア活動をしています。昨年はO157、また本年は先月に隣町で食中毒が発生した事もあり、衛生面には今まで以上に気を配り、皆様に喜んで頂ける食事作りを励んでいます。ボランティアの活動と共に皆さんとのふれあいの場を広げていきたいと思います。甲賀町 大原ちす

「エライことですわ!!」日本上空でもオゾン層が強い紫外線が!!  
ストップ・フロン全国連絡会所属  
ストップ・フロン滋賀事務局  
ストップ・フロン滋賀は、以前からびわ湖の環境保全に関心を持っていた人々たち(主に)第4回世界湖沼環境会議の滋賀県代表団有志とオゾン層破壊とフロン放出の現状に危機感を持ち、友人知人のネットワークで94年2月6日に結成されました。以来、その活動の輪が広がっています。96年3月24日には天津市で「オゾン層の保護」をテーマにした国際会議に参加しました。この活動を通じて、オゾン層破壊防止の大切さを多くの人に伝えることができました。また、この活動を通じて、オゾン層破壊防止の大切さを多くの人に伝えることができました。また、この活動を通じて、オゾン層破壊防止の大切さを多くの人に伝えることができました。

TVoice

タナゴ類の寄付を下さい  
バイオートタイプ型(生態巡遊型)のほてじゃこの自然増殖が期待出来る小池(5×10m)が、逢阪小学校内に出来ました。機会があったら見て下さい。なお、びわこ銀行の「みどりの基金」の助成を戴き、業者の方にも工事費の半額を負担して戴きました。どなたかタナゴ類の寄付をお願いします。連絡お待ちしています。  
連絡先●〇七七(五三二七八三三) 荒木克己

ソソクを守る!」全国大会を滋賀独自で開催、地元選出国会議員の協力もあり、岩垂環境庁長官も参加されました。また主旨に賛同する市会、県会議員各位の支援により、大津市、滋賀県の全面的な協力も得ることができました。9月16日は国際オゾン層保護デーです。オゾン層についてちょっと考えてみませんか。  
連絡先●〇七七(五三七七) 四九七〇 野口陽

日に一つのゴミを拾うのです。なぜするのですか?地球上のみんなが、幸せになるためです。  
連絡先●〇七七(五四五五七三二) 田淵宗晴  
ひとりぽっちをなくそう  
80歳以上の高齢者は孤独になりやすい。そこで友愛活動を推進し、生き甲斐を持つことで、「ひとりぽっち」をなくそうと、平成7年に結成。現在会員は13名。全員80歳以上で、そのうち米寿以上の方が3名います。楽しい会で、みな和朗の会の日を楽しみにしており、毎回全員出席です。平成10年1月10日の会が100回目を迎えました。  
日時●毎月10・20・30日(前9時~午後3時)会場●いこいとかれあいのやかと  
連絡先●〇七四九(九三三三三三) 西沢

伝言板  
9月→10月

日時・場所・問い合わせ先等を明記の上、FAXまたは郵送でセンターまでお寄せください。(10月10日締切です)

一緒に楽しみませんか?

初秋の伊吹山お花畑観察会

日時●9/12(土) AM9:10集合  
集合場所●JR近江長岡駅前  
お問い合わせ先●0740-22-2525  
今津健康福祉センター/宮田

平成10年度 三島池自然観察会

第4回 秋の虫の声にひたる会  
日時●9/12(土) PM7:00~10:00  
場所●三島池ビジターセンター  
指導●講師と「鴨と螢グループ」  
お問い合わせ先●0749-55-0804  
滋賀県野鳥の会/口分田

滋賀県野鳥の会 探鳥会

9月 タカの渡り  
日時●9/20(日) AM8:30集合  
集合場所●JR木之本駅前  
参加費●100円(傷害保険料)  
お問い合わせ先●0749-82-4482/森

10月 秋の低山地の野鳥

日時●10/25(日) AM9:30集合  
集合場所●JR和邇駅前  
参加費●100円(傷害保険料)  
お問い合わせ先●0740-25-3616/堀野

子育てネットワーク「どんぐり」

おやこ体操あそび  
「しなやかなからだを育てる」  
日時●9/26(土) AM9:30~12:00  
場所●多賀町中央公民館  
内容●リズム遊びを通して親子のふれあう楽しさを発見  
参加料●300円  
お問い合わせ先●0749-48-1800  
多賀町中央公民館/田畑

甲賀七彩のつどい

「味な鹿深で秋しましょ」  
日時●10/19(月) AM10:00集合  
集合場所●甲賀駅  
内容●忍者の里・自然丸かじりコース

日時●10/20(火) AM9:50集合

集合場所●貴生川駅  
内容●あいの土山チャチャコース

日時●10/20(火) AM10:00集合

集合場所●信楽町役場駐車場  
内容●信楽の秋、松茸・お茶の香りコース

日時●10/22(木)

集合場所●甲西町役場  
内容●阿星の里と秋の香りコース

日時●10/23(金) AM9:50集合  
集合場所●貴生川駅  
内容●東海道水口宿と甲南忍者スタミナ食コース  
参加方法●各コース先着順40名  
9/16より受付  
お問い合わせ先●0748-63-6127  
甲賀七彩のつどい実行委員会事務局

## 淡海ネットワークサロン

～みんなでちょっと話しませんか？～

地域づくりやまちづくり、環境保全、国際交流、福祉等さまざまな分野をテーマに、ゲストを交え、気軽に話し合いながら交流しませんか？そんな、ネットワークづくりの機会となるような、淡海ネットワークサロンを県内各地で開催します。興味のある方はぜひご参加下さい。参加料はお茶代として1回200円です。

**参加者募集**  
先着20名締切

●現地に行って話をきいてみよう！編●

### 高月町雨森地区のまちづくりについて

ゲスト●平井茂彦さん(雨森まちづくり委員長)  
場所●雨森芳州庵(高月町) 日時●9月19日(土)14:00～16:00

### 地域での環境教育の実践について

ゲスト●井阪尚司さん(蒲生野考現倶楽部事務局長)  
場所●あたらしや学問所(蒲生町) 日時●10月3日(土)14:00～16:00

### 町家を活かした地域の活性化について

ゲスト●片岡太郎さん(びれっじ2号館委員長)  
場所●びれっじ2号館(高島町) 日時●11月7日(土)14:00～16:00

### 障害を持つ人と共に生活するには

ゲスト●牛谷正人さん(甲賀郡障害者生活支援センター「OPEN SPACEれがーと」所長)  
場所●OPEN SPACEれがーと(甲西町) 日時●12月5日(土)14:00～16:00



全ての申し込みは  
電話、ファックス、  
E-mailで  
センターまで。

## 福井・滋賀・三重市民活動フォーラム'98

日時●11月22日(日)  
場所●三重県四日市市 中部中学校  
内容●環境・福祉・まちづくりなどの幅広い市民活動をテーマに交流し、語り合います。  
お問い合わせ先●077-528-3410  
滋賀県企画県民部県民生活課

ご参加下さい!!

## 淡海ネットワークセンターブックレット まだ残部あります!

センターでは、わくわく市民活動セミナーの講義録やフォーラム、交流会の記録をまとめた淡海ネットワークセンターブックレットを発行しています。まだ多少残部がありますので、ご希望の方は送料(3冊まで200円分、4冊300円分の切手)を添えてセンターまでお申し込み下さい。なお、今年度のわくゼミの講義録をまとめたブックレットも現在作成中です。

淡海ネットワークセンターブックレット(既刊)

- NO.1 わたしたちが開くこれからの地域社会(設立記念フォーラム記録)
- NO.2 市民活動の意義と役割 ◀残りわずか! (講師:山岡義典さん)
- NO.3 市民活動促進のための法制度をめぐる議論(講師:雨宮孝子さん) ◀残りわずか!
- NO.4 これからのNPO経営(講師:木原勝彬さん)

## 編集ボランティア会議開催

日時 9月11日(金) PM2:00～  
場所 淡海ネットワークセンター会議室  
内容 「おうみネット」編集に対する意見・フリートーク  
●詳しくは淡海ネットワークセンター福田まで

**開催希望者募集**

●あなたのところでサロンをします!編●

不登校について考える……………ゲスト●みちくさ

在住外国人との交流について……………ゲスト●ひこね国際交流会VOICE

GENKI情報の発信について……………ゲスト●びいめ〜る

上記のテーマについて実際に取り組まれている団体の方をゲストに招いて行います。「私のところでサロンをやりたい!」方募集!!詳しくはセンターまで。

## アドバイザー派遣制度をご利用ください

センターでは、団体やグループの様々な問題や課題解決のため、専門的なアドバイスが受けられるアドバイザー派遣制度を立ち上げます。アドバイザーをお願いするのは、県内で活躍されている実践リーダーや学識経験者の方々です。詳しくは淡海ネットワークセンターへ。

## 参加者名簿作成について

淡海ネットワークセンターでは、フォーラムや交流会等各種の事業に際し、ネットワークづくりを進めていただくために参加者名簿(氏名、所在市町村名、所属団体名)を当日の参加者に配布してきました。過日の「わくゼミ」のアンケートの中で「プライバシーの視点が欠けている」と指摘を受けました。今後は事前にご了解を得た方の名簿を作成しますのでよろしくお願い致します。

## 編集後記

苦悩や悩みも明るく乗り越え、未来に希望をもってやっ払いこう!!

NPOフォーラム'98の中で、再三「未来に希望をもってやっ払いこう」と言われていました。現代の日本社会の中でまだまだNPOの力は未知数ですが、未来に希望をもたらすものとして期待し、また、そうなっていければと思っています。3名の体験リポーターの皆さんには2日間、大阪へ行っていただきました。本当にお疲れ様でした。センターの活動を通して、様々な分野の自発的な社会参加活動に取り組ま

れる方と知り合う機会が多いのですが、皆さん、生き活きとしておられ、苦悩や悩みも明るく乗り越えていられるパワーを感じ、元気づけられます。「おうみネット」も、はや7号。みなさんの明るさや元気を伝える情報交流誌を目指して奮闘中です。どうぞご協力下さい。次号の特集は「広報紙・ミニコミ誌づくり」についてです。先日のわくゼミのワークショップの様子もお伝えできればと思っています。お楽しみに!!

## 淡海ネットワークセンター

(財)淡海文化振興財団 / 〒520-0806 大津市打出浜14-15

TEL 077-524-8440 FAX 077-524-8442  
http://www.biwa.or.jp/~ohmi-net/  
E-mail ohmi-net@mx.biwa.or.jp

右記の日時に  
ご利用いただけます。

月曜日と祝日の翌日を除く毎日(12/29～1/3を除く)  
火～金曜日/9:00～19:00 土・日曜日、祝日/9:00～17:00

